

アゼオトギリ

Hypericum oliganthum Franch. et Sav.
オトギリソウ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：—

【環境省カテゴリー】絶滅危惧ⅠB類

選定理由

2000年の環境省調査では全国で25メッシュに約800個体の生育とされ、絶滅危惧ⅠB類に指定されている。最近、本県で250～300株から成る個体群が発見されたが、短期間のうちに数十株まで減少したため、県域絶滅危惧Ⅰ類とした。

種の特徴

水路に接した田の畔に生える多年草。越冬した根株から斜上するシュートを生状に展開する。8～10月に径1cm程度の黄花を開き、11月ごろ結実する。種子生産性も高い。サワオトギリに似るが、本種は暗点が葉縁に等間隔で密に並ぶことで判別できる。

分 布

関東以西に分布する。本県では、坂井市東部に生育地点が1カ所現存する。

生育を脅かす要因

本種は従来の水田畦管理に高度に依存して生存してきたと推察される。近年、水田畦や水路の改変および畦管理方法の変化がいちじるしい。これが個体数減少の最大要因であることが明らかである。

参考文献 吉岡俊人・青山のぞみ（2015）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
											○						

ヒメビシ

Trapa incisa Siebold et Zucc.
ミンハギ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

県内ではもともと稀産種だが、水湿地の消失や生育条件の悪化でさらに減少傾向にある。休耕田や民家近くの溜池で見つかったものは、不安定な環境であるため生育地の維持が難しい。

種の特徴

湖沼に生える一年生草本。浮水葉は広卵状菱形、長さ1～2cm、上部の縁には粗い鋸歯がある。裏面はほぼ無毛。葉柄の中央は膨らむ。花期は7～10月。花弁は白色、4枚。果実には4個の刺がある。

分 布

北海道から九州に分布。県内では嶺南及び嶺北に数箇所の生育地がある。

生育を脅かす要因

池沼開発、産地局限、水質汚濁。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）、福井県植物研究会（1998）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
				○	○	○	○						○			○	

ハマハコベ

Honckenya peploides (L.) Ehrh. var. *major* Hook.
アオイ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

海浜の砂地や礫地の改変で生育環境が悪化し、個体数の減少が著しい。生育地は2地区で絶滅が危惧され、県域絶滅危惧Ⅰ類とした。

種の特徴

海浜の砂地に生える多年草。地下茎は長く、茎は細かく枝を分け、下部は斜上し、上部は開出する。葉は多肉で、長楕円形、先は鋭形。花期は6～9月。両性花の株と単生花の株にわかれる。蒴果は肉質、卵形。種子は卵形、平滑で褐色。

分 布

北海道～本州（日本海側）に分布する。県内では越前町、福井市で確認されている。

生育を脅かす要因

海岸開発、自然遷移。

参考文献 福井県植物研究会（1997）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
							○										○